

中島精二

なかしま・せいじ

誠之館同窓会幹事長、広島県会議員

経歴

生:明治26年(1893年)、広島県深安郡川口村字川口(現福山市川口町)生れ

没:昭和29年(1954年)6月25日、享年61歳

明治44年(1911年)	17歳	広島県立福山中学校(誠之館)卒業
大正2年(1913年)	19歳	東京蔵前高等工業学校紡織科卒業
—	—	東京蔵前高等工業学校染色科終了
大正3年(1914年)	20歳	帰郷、家業の魚網製造に従事
—	—	オロチ染料製造を始める
大正12年(1923年)	29歳	帝国漁網株式会社を設立、専務に就任
昭和4年(1929年)～ 昭和20年(1945年)	35～ 51歳	市議員
—	—	市会副議長
昭和6年(1931年)～ 昭和10年(1935年)	37～ 41歳	県議員《立憲民政党》
昭和11年(1936年)	42歳	合名会社久松塗料商会
昭和14年(1939年)～ 昭和20年(1945年)	45～ 51歳	県議員《立憲民政党》
昭和23年(1948年)	54歳	合名会社オロチ化学工業所を設立
—	—	福山信用金庫監事
—	—	裁判所調停委員
—	—	広島県剣道協会副会長
—	—	福山丸山会会長
昭和29年(1954年)4月～ 6月25日	60歳	誠之館同窓会幹事長

生い立ちと学業、業績

明治26年(1893年)福山に生れ、福山中学校を経て大正2(1913年)年東京蔵前高等工業学校紡織科を卒業。

引続き染色研究科を終了して翌大正3年(1914年)帰郷。

家業の漁網製造に従事する外、新たにオロチ染料製造を始めた。

これは福山地方に於ける硫化染料製造の嚆矢であった。

大正12年(1923年)帝国漁網株式会社を設立、専務取締役となった。

資性豪放磊落、剣道3段の猛者で、庭球も選手として青年仲間の人気者であった。

昭和4年(1929年)市議員に当選、以来18年間市政に参加し、昭和6年(1931年)県会議員に当選、次期惜敗、昭和14年(1939年)再選、昭和22(1947年)迄前後11年間県政に携わり、地方自治の発展に尽瘁した。

硫化染料は工夫発明の結果、数種の特許を獲得し、斯業の発達に貢献、昭和23年(1948年)合名会社オロチ化学工業所を設立し、又昭和11年(1936年)設立した合名会社久松塗料商會を昭和23年(1948年)久松化学合名会社に改称、両社の顧問となった。

この外福山信用金庫監事、裁判所調停委員、広島県剣道協会副会長、福山丸山会会長等を兼ね、地方政界の長老として重きをなしていたが、昭和29年(1954年)6月脳溢血のため急逝、享年61歳。(出典1)

出典1:『備後先覚者名鑑(郷土を創った人々)』、16頁、村田露月・式見静夫編、備後文化出版社刊、昭和35年6月

出典2:『福山学生会雑誌(第70号)』、31頁、福山学生会事務所編刊、昭和5年7月30日

2004年11月30日更新:経歴・本文●2005年6月2日更新:経歴●2006年3月31日更新:タイトル・本文●2006年5月26日更新:連絡先(削除)●2008年4月30日更新:経歴・本文●2008年7月11日更新:経歴・出典●